

報道発表資料の配付日時 12月4日(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度北海道防災総合訓練(後期)の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	<p>道では、毎年度、北海道地域防災計画に基づき、北海道防災会議が主唱する北海道総合防災訓練を実施しています。 この度、後期訓練を次のとおり実施しますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 主催・共催 主催：北海道防災会議(会長 北海道知事) 共催：十勝総合振興局管内4町(大樹町、広尾町、幕別町、豊頃町) 訓練想定 厳冬期において、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震(十勝沖を震源とするマグニチュード8を超える地震)に伴い、大規模停電や太平洋沿岸地域に大津波が発生 訓練日程等 <ol style="list-style-type: none"> 日時 令和5年12月19日(火) 午前10時00分～午後2時30分まで 場所 <ul style="list-style-type: none"> メイン会場(道が実施主体)：大樹町 一般会場(町が実施主体)：広尾町、幕別町、豊頃町 訓練内容 ※詳細は別添資料をご覧ください。 情報伝達訓練、住民避難訓練、避難所運営訓練 参加機関等(約30機関) <ul style="list-style-type: none"> 道防災会議構成機関：陸上自衛隊北部方面隊、北海道総合通信局、北海道開発局、NTTドコモ等 災害時協定締結企業等：北海道コカ・コーラボトリング、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター等 訓練のポイント <ul style="list-style-type: none"> 道防災総合訓練において、初めて外国人居住者の避難支援に重点をおいた住民避難及び避難所運営訓練を実施(37名が参加予定) ドローンを活用した被災状況の確認及び映像伝送を実施 道総研建築研究本部の協力のもと、一部避難者にGPSを保持させて、避難行動を測定・記録し、検証・分析に活用(前期訓練に引き続き実施) 		
参考	<p>令和5年度北海道防災総合訓練(前期)は、10月15日(日)に日高振興局管内で実施しました。 なお、実施結果については、道ホームページをご覧ください。 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/kts/71022.html</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生が切迫し、地域における防災対策への関心が高まっていることから、当日取材をいただき、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	同時レク
担当(連絡先)	<p>総務部危機対策局危機対策課(担当者：課長補佐 葛西 危機対策企画幹 坂口)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5008(内線22-588、22-558)</p> <p>公用スマホ 011-585-6240、011-585-6212</p>		

令和5年度北海道防災総合訓練（後期）全般要図

日程・地域	12月19日（火） 十勝総合振興局管内4町	
参加市町村等	メイン会場	一般会場
	大樹町	広尾町・幕別町・豊頃町
主な訓練内容	情報伝達訓練、住民避難訓練、避難所運営訓練	

	項目	訓練の概要
管内4町 (共通)	①情報伝達訓練	地震・大津波警報を各種手段により対象住民に通知
	②避難訓練	警報に基づき、一時避難場所への避難を実施

	項目	訓練の概要
大樹町	①情報伝達訓練	ドローンによる被災状況の確認及び映像伝送
	②避難訓練	一部避難住民にGPSを保持させてデータを測定
	③避難所運営訓練	避難所の開設・運営 非常用電源の起動



令和5年度防災総合訓練（後期）の概要

1 訓練日時

令和5年12月19日（火）10:00～14:30

2 訓練想定

厳冬期において、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震（十勝沖を震源とするマグニチュード8を超える地震）に伴い、大規模停電や太平洋沿岸地域に大津波が発生

3 参加機関等（約30機関（道及び十勝管内4町は除く））

道防災会議構成機関：陸上自衛隊北部方面隊、北海道総合通信局、北海道開発局、NTT ドコモ 等

災害時協定締結企業：北海道コカ・コーラボトリング、北海道国際交流・協力総合センター 等

注：本資料に掲載の時刻は全て予定であり、訓練当日の天候や進行状況などにより、中止又は前後する場合がございます。

1 情報伝達訓練

■ 地震・大津波情報を各種手段により対象住民へ通知

訓練項目	訓練内容	訓練主体	訓練場所
1 防災情報システムによる情報伝達、情報共有 (10:00～10:30頃)	○地震速報及び大津波警報の通報 ○避難状況など各種情報をクロノロジー（災害情報等を時系列に記録するシステム）等を活用し、逐次情報を共有	北海道 (本庁) 十勝管内4町	各庁舎
2 各種手段を活用した住民への情報伝達 (10:03頃～10:30頃)	○防災無線、戸別無線、エリアメール等の活用	十勝管内4町	各町
3 臨時に開局したコミュニティFM放送局による情報発信 (10:00～14:30頃)	○臨時に開局したコミュニティFM放送局による防災情報の発信、訓練実施状況の実況中継	大樹町 北海道総合通信局 (一社)日本コミュニティ放送協会	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校)
4 ドローンの活用 (10:00～12:00頃)	○陸自、開発局による被災状況の確認、映像の伝送、映像の受信、配信	陸上自衛隊 北海道開発局	北海道スペースポート

2 避難訓練

■ 大津波警報の発令に基づき、一時避難場所への住民避難訓練等を実施

訓練項目	訓練内容	訓練主体	訓練場所
1 住民避難訓練の実施 (10:00~10:30 頃)	○大津波警報発令に伴う一時避難場所への避難の実施	大樹町(約120名参加) 広尾町(約100名参加) 幕別町(約7名参加) 豊頃町(約30名参加) 4町合計(約257名参加)	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校) 他
2 高齢者等避難行動要支援者への避難支援 (10:00~10:30 頃)	○要支援者への情報提供、避難支援方法等の習得 ○円滑な避難の実施に資するため、民生委員や自主防災組織等、関係機関と連携	大樹町	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校)
3 外国人居住者への避難支援 (10:00~10:30 頃)	○外国語による避難情報の伝達 ○外国人居住者自ら又は支援者による言語等の支援のもと一時避難場所への避難を実施	大樹町	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校)
4 GPSを活用したデータの測定、検証・分析 (10:00~10:30 頃)	○一部避難者にGPSを保持させてデータを測定し、検証・分析に活用	大樹町 道総研(協力)	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校)

3 避難所運営訓練

■ 避難住民、自治体職員等の防災に関する意識や技能を高めるために避難所の開設・運営等を実施

訓練項目	訓練内容	訓練主体	訓練場所
1 避難所の開設・運営要領の習得 (10:00~13:00 頃)	○高齢者等、避難行動要支援者や外国人居住者の受け入れを考慮した施設の開設・手続き等 ○医療関係機関等による避難所のアセスメント実施	大樹町 北海道看護協会 北海道薬剤師会 北海道災害リハビリテーション推進協議会(北海道JRAT) 北海道災害派遣福祉チーム(北海道DWAT)	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校)
2 防災に関する意識・識能の向上 (11:00 頃~14:30 頃)	○防災講話等による防災意識の向上 ○段ボールベッド組み立て訓練等による能力向上 ○非常食の加熱・試食等 ○避難所の説明(臨時災害放送局等) ○避難所での健康維持・管理方法の習得 ○防災関係車両、装備資機材の展示・説明	北海道 大樹町 (資機材等展示) 陸上自衛隊 北海道開発局 他 約19機関	歴舟地域コミュニティセンター (旧歴舟小学校)

令和5年度防災総合訓練（後期）に係る報道取材について

訓練の円滑な進行、実施を図るため、次の事項について、ご理解・ご協力をお願いします。

1 基本的な留意事項

- ・報道関係者（記者、カメラマン等）は、自社の腕章等を必ず着用してください。
- ・取材に当たっては、道の係員（道防災服、ネームプレート、ビブス等着用）の指示に従ってください。
- ・訓練中の訓練参加者への取材は、訓練の支障となる可能性がありますのでご遠慮ください。
- ・避難訓練に参加している住民への取材は、訓練終了後としてください。
- ・取材を実施する報道機関については、別紙様式により12月12日（火）17時までに事前の申込みをお願いします。
- ・訓練実施場所の駐車場は、訓練関係者の他、一般の方も利用することが想定され、駐車スペースに限りがありますので、事前に申込みいただけない場合は駐車ができないことをご承知おきください。

2 取材可能場所及び取材に当たっての留意事項

- ・取材可能な場所は原則として以下の場所とします。
 - 歴舟地域コミュニティセンター（旧歴舟小学校）【大樹町】 ……避難所運営訓練における避難所
なお、上記の場所以外で取材される場合は、必ず道担当者に連絡の上、取材するとともに、取材に当たっては、施設管理者等の現地担当者の指示に従ってください。
- ・取材可能場所においては、取材エリアを設定しますので、訓練進行の妨げにならないよう、係員の指示に従ってください。（訓練車両が通行し危険ですので、特に車道等での取材はご遠慮ください。）
- ・取材可能場所においては、訓練車両や一般車両などが往来することから、運転等にご注意いただくとともに、必ず指定の場所に駐車するようお願いします。（駐車場は別途参照ください。）

3 訓練の中止等について

- ・道内において災害等により大規模な被害が発生するおそれがある場合は、訓練を中止または一部変更する場合がございます。
- ・訓練の中止等については、訓練当日の8時00分頃に危機対策局において決定し、中止等を決定した場合には、事前に申込みいただいた報道機関のご担当者様あてに速やかに連絡させていただきます。

4 訓練内容等に関するお問合せについて

訓練に関してご不明な点や確認事項がある場合には、以下までお問い合わせください。

【連絡先】 北海道総務部危機対策局危機対策課 課長補佐（防災教育） 葛西 忍
危機対策企画幹 坂口 浩一郎
(ダイヤルイン) 011-204-5008 (内線 22-588、22-558)
(公用携帯) 011-585-6240、011-585-6212

北海道総務部危機対策局危機対策課 行 (FAX 番号 : 0 1 1 - 2 3 1 - 4 3 1 4)
(メール : sakaguchi.kouichirou@pref.hokkaido.lg.jp)

令和 5 年度防災総合訓練 (後期) 報道取材に係る事前申込票

1 基本事項

報道機関名	代表者職氏名	電話番号 ※1	取材予定人数	車両台数
			人	台

※1 電話番号については、訓練当日に連絡が繋がる電話番号を記載願います。

2 取材希望場所等

	取材希望場所 ※2	取材希望の有無 ※3
(1)	歴舟地域コミュニティセンター【大樹町】	
(2)	() その他 () ()	

※2 歴舟地域コミュニティセンター以外で取材を希望する場合はその他の () 内に取材希望場所を記載願います。
(現時点での想定で構いません。)

※3 取材を希望する場合は「○」を記載願います。(現時点での想定で構いません。)

3 備考

現時点で想定している取材内容等があれば記載願います。

--

報道機関車両の駐車場について

事前に申込みいただいた報道機関様の車両については以下の場所に駐車願います。
当日、駐車スペースに空きがない場合は、現地担当者等の指示に従ってください。

○ 歴舟地域コミュニティセンター（旧歴舟小学校）【大樹町字芽武 183 番地】

